

山宮 半四郎

旧地蔵堂町の旧家山宮家の生まれ。地蔵堂町議会議員を経て、昭和 8 年（1933）から翌年まで一年間町長を勤めた。

大河津分水工事が開始されると同時に、この大事業を後世に伝えるべく、一帯の公園化を企画し運動を起こす。また、有志を募り私財を投じて桜苗の植樹を始めた。

大正 12 年、運動が実を結び記念公園が設立され、これを機に翌 13 年、「信濃川分水路保勝会」を設置し理事に就任、後に長く会長を勤めた。分水路堤防を含む約 5 万坪の公園に桜樹を植え続け一大名所となし、昭和 9 年に「分水路桜ノ会」を発足させて観光化を図った。

この会は戦後の昭和 22 年、「信濃川分水路観光協会」に改組して出発するが、終始中心的な役割を果たした。大河津分水事業の顕彰と一帯の公園化、桜を中心とした観光事業の振興などに果たした功績に対し旧分水町は条例をつくり、昭和 42 年 7 月 10 日に「分水町名誉町民」の称を贈り讃えた。

余技として書、画をよくしたが、楚々とした淡紅花をつけた老桜樹の画と、それに和歌を賛した一幅が遺され、分水路に育てた桜樹に寄せる翁の思いを偲ぶことができる。

明治 15 年（1882）6 月 2 日生まれ。

昭和 43 年（1968）8 月 9 日 86 歳没。

没年の翌昭和 44 年に町は慰霊祭を行い追悼した。